令和６年度芦別市各会計予算の概要

全会計　196億848万円（対前年度比　3.7%）

一般会計 …… 118億6,600万円（対前年度比　4.3%）
特別会計 …… 38億7,923万円（対前年度比　△13.0%）
企業会計 …… 38億6,325万円（対前年度比　26.2%）

令和６年度は、第６次総合計画の中間年となることから、計画後半への折り返しに向け、将来都市像の実現のために、だれもが安全・安心に暮らすことのできる環境づくりに努め、一人ひとりが住み続けたいと思えるまちづくりを着実に推進することとし、持続可能な自立した行財政基盤の確立に留意のうえ、市民生活の質的向上と、地域経済の活性化に向けた施策推進に果敢に取り組むことを予算編成方針としました。

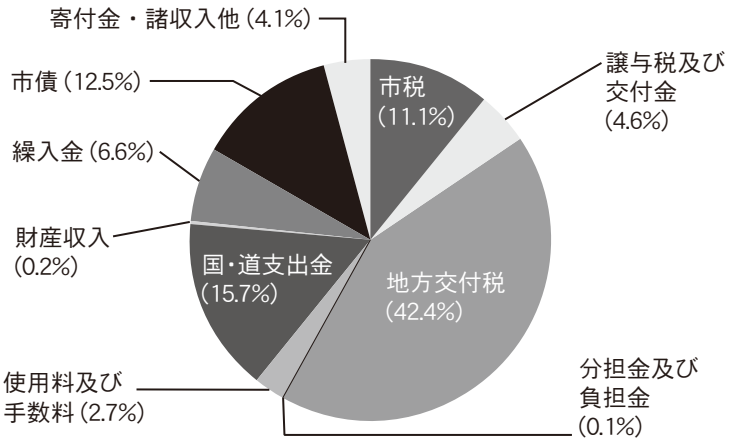
このことから、給食費無償化の中学生への拡大や妊産婦健康診査の助成回数の拡充など、子ども・子育て支援施策のより一層の充実を図るとともに、各種証明書発行に係るコンビニ交付システム導入による市民サービスのデジタル化、人口減少を食い止めるための移住・定住施策の推進、雇用対策、産業振興策などの地域経済活性化の取り組み、猛暑対策としての公共施設へのエアコン整備、脱炭素化に向けた照明器具のＬＥＤ化及びゼロカーボンシティ推進に向けた実行計画の策定等に、重点的に予算を配分しました。

■一般会計予算総額 118億6,600万円（経常費 101億6,878万円／事業費 16億9,722万円）

●歳入の内訳

科　目	当初予算額	対前年度比
市税	13億1,809万円	△2.7%
譲与税及び交付金	5億4,498万円	5.7%
地方交付税	50億3,600万円	1.4%
分担金及び負担金	913万円	1.4%
使用料及び手数料	3億2,619万円	△2.4%
国・道支出金	18億5,982万円	△1.3%
財産収入	1,960万円	2.7%
繰入金	7億8,090万円	28.2%
市債	14億8,000万円	42.6%
寄付金・諸収入他	4億9,129万円	△23.9%
合計	118億6,600万円	4.3%

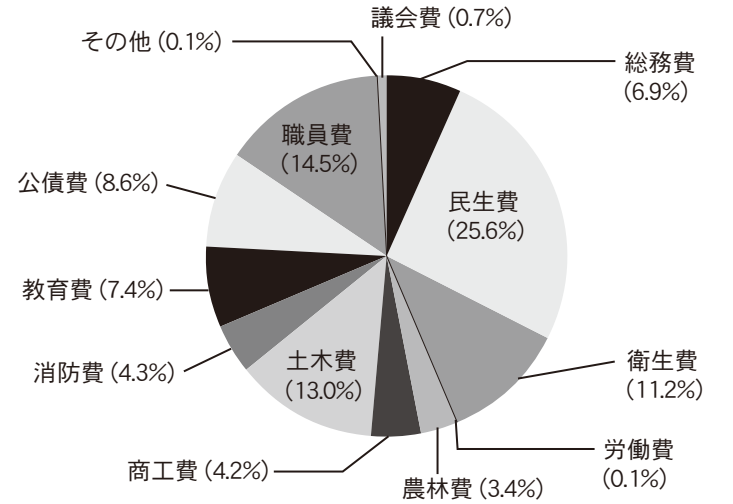
当初予算額の収入構成　（　）内は予算に占める比率



●歳出の内訳

科　目	当初予算額	対前年度比
議会費	7,797万円	△0.4%
総務費	8億1,824万円	0.4%
民生費	30億4,076万円	6.8%
衛生費	13億3,321万円	15.2%
労働費	940万円	△2.0%
農林費	4億　90万円	1.4%
商工費	4億9,210万円	△24.9%
土木費	15億4,112万円	7.5%
消防費	5億1,193万円	△3.7%
教育費	8億8,180万円	24.7%
公債費	10億2,488万円	0.6%
職員費	17億2,368万円	0.3%
その他	1,001万円	0.0%
合計	118億6,600万円	4.3%

当初予算額の支出構成　（　）内は予算に占める比率



◎当初予算（118億6,600万円）

市民１人あたりの予算	１世帯あたりの予算
102万7,359円	174万393円

令和６年１月31日現在
○人口／1万1,550人
○世帯数／6,818世帯

■特別会計の内訳

会計名	予算額	前年度対比
奨学資金	3,365万円	△21.3％
国民健康保険	18億6,633万円	△2.7％
下水道事業		皆減
介護保険事業	16億7,854万円	△1.9％
後期高齢者医療	3億　71万円	2.9％
合計	38億7,923万円	△13.0％

※下水道事業特別会計については、令和６年度から公営企業会計へ移行されたことから廃止となり、企業会計「下水道事業会計」に引き継がれました。

■企業会計の内訳

会計名	収支区分		予算額	前年度対比
病院事業	収益的	収入	17億8,001万円	△7.0％
		支出	20億　25万円	△1.8％
	資本的	収入	9,951万円	40.9％
		支出	1億5,576万円	26.0％
水道事業	収益的	収入	4億　774万円	△3.7％
		支出	4億2,454万円	△6.7％
	資本的	収入	3億3,031万円	19.0％
		支出	4億3,178万円	△3.3％
下水道事業	収益的	収入	5億9,508万円	皆増
		支出	5億4,988万円	皆増
	資本的	収入	2,837万円	皆増
		支出	3億　104万円	皆増

◎ 令和６年度の主な事業 ◎

■デジタル化推進事業

住民票、印鑑登録証明書などをコンビニエンスストア等で取得できる「コンビニ交付」を実施するとともに、公共施設等の人が行き交う場所にデジタルサイネージを設置し、市の行政情報等を積極的に発信するほか、市の公共施設利用に係る予約システムを導入し、市民サービスの向上に努める。

■ゼロカーボン実行計画策定事業

2050年（令和32年）までに二酸化炭素排出量実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を推進するための長期目標として、人為的な温室効果ガス排出量の抑制に向け必要となる、市、事業者及び市民が行うべき施策を取りまとめた「芦別市ゼロカーボン実行計画（区域施策編）」を策定する。

■公共施設エアコン設置事業

昨今の異常ともいえる夏季の暑さ対策として、小中学校のほか、コミュニティセンター等にエアコンを設置する。

■給食費無償化事業

子育て世帯の保護者負担の軽減を図り、子育て支援を推進するため、小学生に対する給食費の無償化を継続するとともに、中学生の給食費についても無償化を実施する。

■妊産婦健康診査事業

妊婦一般健康診査の回数に合わせ、超音波検査の助成回数を６回から14回へ拡大するとともに、新たに産婦健康診査２回を助成することにより、妊産婦の健康保持及び健やかな出産を支援する。

■妊産婦安心出産支援事業

産科医療機関までの距離が遠く、心身及び経済的負担の大きい妊産婦に対し、妊婦一般健康診査及び出産に係る通院交通費を補助するとともに、新たに産婦健康診査に係る交通費を助成対象に追加することにより、安心して子どもを産み育てることのできる環境の充実を図る。

■市外火葬場使用料助成事業

芦別市斎場が故障等により使用できず、やむを得ず市外の火葬場を使用した場合の使用料を助成することにより費用負担の軽減を図る。

■持ち家取得奨励事業

定住の基盤となる持ち家の取得を奨励するため、新築及び中古住宅を取得する方に対する奨励金の交付を継続して実施する。

■賃貸住宅家賃助成事業

移住を促進し定住人口の増加を図るため、自らの意思により本市に定住することを目的に、市外から賃貸住宅（公営住宅、道営住宅、公務員住宅、社宅、３親等以内の親族が所有する住宅を除く）に移り住む方に対する家賃の助成事業を継続して実施する。